



# FUTABA JOURNAL

静岡市葵区追手町10-71  
静岡 雙葉 学園  
新聞 部  
電話(054)255-0305  
印刷所 ササキデザイン社

## 一人ひとりの個性を活かし

### 互いに認め合った二日間

今年の雙葉祭は、新型コロナウイルスにより制限されていたことが三年ぶりに出来ることとなり、盛り上がりを見せた。今回のテーマは「COLORFUL」。一人ひとりの個性を活かせる雙葉祭になるようにという思いが込められている。ポスターもそのテーマに沿ったデザインで、中心では様々な色が混じり合っている。生徒一人ひとりの個性

## 3年ぶり制限緩和 雙葉祭2022開催



▲ 伝統のフォークダンスを皆で踊る

## 実行委員長にインタビュー

● 新聞部は雙葉祭実行委員長の藤田麻維さんにインタビューを行った。

Q1 スローガンへの思い。  
A1 雙葉生や各部活の個性を理解し、認め合う場にしたかったからです。

Q2 雙葉祭が終わってからの思い。  
A2 今年は外部から多くのお客様に会場に来ていただくことができ、より多くの人に一人ひとりの個性を伝えられたと思います。また、天気予報に反し、青空が出て虹もかかったので神様にも認めてもらう事が出来たのではないかと思います。

Q3 実行委員長を務めた理由。  
A3 元々メディア班をやっていたので、その時に裏方として皆を支え

る仕事にやりがいを感じてからです。  
Q4 来場者の方に伝えたい思い。  
A4 互いを尊重し合って活動した努力や個性を伝えたいです。  
Q5 来場者の方、雙葉生に一言。  
A5 本当に多くの方に会場に来ていただき、うれしかったです。先生方も私達を支えて下さりありがとうございます。



▲ 実行委員長の藤田麻維さん  
Q1 実行委員長を務めた理由。  
A1 元々メディア班をやっていたので、その時に裏方として皆を支え

## メディア班

● 雙葉祭でのメディア班について、高2北組の藤田麻維さんにインタビューを行った。

Q1 メディア班の主な仕事内容。  
A1 雙葉祭の様子を高機能カメラで撮影したり、オンライン雙葉祭の配信を行いました。

Q2 配信で大変だったこと。  
A2 メディア班担当の千葉先生が様々な機材を用意してくれているので一つ一つの使い方を覚えるのに苦

労しました。また機材が重く肩が凝ることもありました。  
Q3 配信で気をつけたこと。  
A3 見て下さっている人によって見やすさや飽きない映像を撮影することです。撮られる人の気持ちも考えて、ズームやピントの調節も頑張りました。

Q4 メディア班でのやりがい。  
A4 コロナ禍であっても多くの方々に部活動や諸活動に懸命に取り組んでい

が混じり合う様子が伝わってくる。様々な部活動が本来の状態に近い形で活動できた今回の雙葉祭。部活動だけでなく、後援会バザーなど他にも多くの展示や販売が行われた。フォスターフレンドは、フェアトレード商品の販売と普段の活動についてのポスターの展示を行った。訪れた人は発展途上国への支援について学ぶことができた。ミツパチプロジェクトでは、生命科学コースが屋上で飼育しているミツパチのハチミツを販売した。ハチミツは一つ一つ瓶に詰められ、オリジナルのラベルが貼られていた。二日目の販売後、五分程で完売する大盛況であった。他にも母の会のバザー「ごもしび」では焼き菓子、ジャム、クッキー、ジュエリーなどの販売が行われた。また、サンパウロではおメタイやロザリオ、み言葉カード、御絵などのキリスト教グッズ、書籍の販売

がされた。それぞれの発表や展示で盛り上がった雙葉祭もあっという間に終盤となり、フイナレを迎えた。台風の接近で講堂で行うと思われていたが、雨は降らず校庭で行われた。校庭は色とりどりの傘と風船によって彩られ、校舎には虹と木が描かれた垂れ幕とクラゲの飾りが吊るされた。毎年の伝統であるフォークダンスを踊った後、部活動ごとに配られたカラーボックスを開けた。中身は風船と部員で撮った写真と高2生からのメッセージだった。最後は皆感謝を伝え合い、雙葉祭のフィナレは幕を閉じた。

高3有志は飲食物の出店を行った。ハンバーガーやチュロス、アイスクリームなどが販売された。販売前から長蛇の列ができるほど人気で、どの店もおよそ三〇分後には完売していた。

「Lab Brass Band Burger」の高3生はこの店を企画した理由について、「吹奏楽部のOGたちが思い出作りのためにと出店を決めた」と話した。最後の雙葉祭を満喫している高3生の姿を見ることができた。

今年度の雙葉祭では、三年ぶりに後援会バザーが開催された。食券での飲食物販売や母の会チャリティーショップ「ごもしび」も出店され、多くの人が訪れた。後援会バザーでは、保護者からの寄贈品や手作り品、雙葉グッズが販売され、二五〇名ほどが来場した。「復活と継承」をスローガンとし、中学生の保護者の方々にも今までの経験を伝えるとい

う思いのもとで実施された。両日四〇〇名以上の保護者が係として来校し、多くの人に支えられていてこそ雙葉祭であった。「ごもしび」で販売されたのは、米粉のクッキーや福祉施設で作られたパウンドケーキ、ジュエリーなど。一時間ほどで完売していた。

生命科学コースによる「雙葉はちみつ」の販売

雙葉祭実行委員会六十九人の内、二十二人が属する装飾班。主に階段やエレベーターホールの装飾を行い、各部活が製作したポスターの設置も担当した。そこで新聞部は装飾班の班長である、増田真子さんにインタビューを行った。

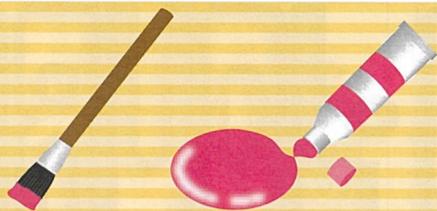
Q1 今年の装飾のテーマ。  
A1 春夏秋冬をテーマとし、階ごとに季節を分けました。今年の雙葉祭のテーマの通りカラフルに仕上げました。

Q2 制作期間やスケジュール。  
A2 七月の前半から準備を始め、夏休みもほぼ毎日活動しました。先輩方の記録を見ながらテーマを決め、一番時間を掛けた。最初の提案が通らず苦勞しました。

Q3 注目ポイントや工夫したところ。  
A3 三階エレベーターホールに置いたアイスの顔出しパネルです。撮影スポットとして活用していただきました。また、装飾一つ一つを大きくし例年とは異なる特別校舎の装飾も行いました。

石の声  
雙葉祭は生徒一人ひとりの努力でカラフルに彩られ、幕を閉じた。そんな中高生の輝きとは対照的に世間には陰が落ちてきている。政治家と旧統一教会との関係、東京五輪での汚職事件などが連日報道されている。将来この日本で働くことに不安を覚えさせられる。自分の利益のために弱い者を犠牲にするような大人にならない。この意志をさらに強くさせた事件が起きた。▼本県の幼稚園の送迎バスで三歳の園児が高温の車内に取り残され、亡くなった事件は全国に悲しみが広がった。車内に残っていたのは空っぽの水筒。最後まで頑張つて、助けを待っていたのだ。献花台には沢山の花や飲み物が手向けられた。親御さんが生まれてから大切に育ててきた子の命が、本来子供の安全を守る幼稚園の怠慢で奪われた。この事件以外にも虐待や不慮の事故で命を落とす子供は多い。▼今私達が生きているのは片時も目を離さず、大切に育てられた奇跡の集積。地位や名誉に溺れることなく、生きていることの奇跡を抱きしめて過ごしていきたい。そして、周りにいる誰もが愛されて育ち、一人ひとりカラフルな輝きを持つことを忘れず、日本を彩っていく。

# 雙葉祭



9月17日(土)と18日(日)の2日間、雙葉祭が開催された。今年3年ぶりに卒業生の来場が可能となった他、グラウンドでの食事も復活し、コロナ前の賑わいを見せた。どの部活動もそれぞれの特色が見られ、今年のテーマ「COLORFUL」にふさわしい雙葉祭となった。

## 美術部

美術部の今年のテーマは「アラビアン」。そのテーマに沿い、廊下の共同制作はイスラム教の寺院のモスクであった。準備期間の九割の時間をかけたという細部まで丁寧に繊細なモチーフが描かれていた。教室内にも、象の展示が置かれた。針金で枠組みを作り、紙と段ボールで肉付けをして作られた。個人制作の絵には、部員それぞれの個性が表れていた。



▲ アラビヤンの世界観



▲ 色鮮やかなドレスが並び

家庭部は「Starlight Memories」をテーマに、東京ディズニーシーをモチーフとした展示を行った。入口で動画を使った説明を受け、教室に入ると色とりどりのドレスが来場者を出迎えた。高2生はミッキー、ミニ、Donaldの衣装をモチーフに一人一人体制作。十体の華やかなドレスは来場者を引き付けた。

## 家庭部

## 英語劇部

英語劇部は、二年ぶりに講堂にてディズニー作品である「塔の上のラプンツェル」英語劇「Let's」を上演した。外に一度も出たことがない主人公ラプンツェルが盗賊であるプリン・ライダーにガイドを頼み、長年の夢であった「輝く光」を見に連れて行ってもらった所から始まる。部員それぞれが試行錯誤を重ねた練習の成果を披露することが出来た。



▲ 主人公2人による掛け合い

## 聖歌隊



▲ トーンチャームでの演奏の様子

聖歌隊は、思い出を意味する「MEMORIA」をテーマに聖堂でコンサートを行った。披露したのは「Amazing Grace」や「Heal the World」など全七曲。美しい歌声やトーンチャームの演奏が聖堂を優しく包み込んだ。いくつものパートの音色が重なりできたハーモニーに来場者は聴き入っていた。演奏の前には曲の歴史などの紹介が行われ、多くの人を楽しませた。

## 演劇部

演劇部は「ドリーム・ファイター」を上演した。



▲ 演劇部の様子

## バスケットボール部



▲ 白熱した試合

バスケットボール部は、土曜日に藤枝北高校との招待試合を行った。結果は五十二対四十二で静岡雙葉の勝利。この結果に対し、本校のキャプテンは「夏休み明けからあまり練習が出来なかつたが、本番で実力を発揮することが出来た。」と語った。

## 書道部

書道部は、書道パフォーマンスの曲である「Snow Manの「イチバンボシ」をテーマとした。部員一人一人がパフォーマンスをする姿が、曲の歌詞とリンクしていた。歌詞に描かれている「失敗しても何度でも立ち上がる姿」を力強い筆の動きで表現していた。観客はパフォーマンスに釘付けであった。



▲ 書道パフォーマンスを終えた部員

## 競技かるた部



▲ 真剣勝負の個人戦！

競技かるた部では、個人戦と団体戦が行われた。袴を着て行われた迫力ある個人戦、互いに声を掛け合って勝利を目指す団体戦、どちらも独特の雰囲気があった。また、日曜日にはかるたの体験も行われ、競技かるたに親しむ来場者の姿を見ることが出来た。

## 吹奏楽部

吹奏楽部は、「昭和VS令和」をテーマに演奏を行った。今年新たに導入したのは来場者の人気投票。歌手・ダンス・アニメの三部門の演奏後に決着がつき、一日目は令和、二日目は昭和が勝利した。音楽と会場が一体となり、来場者は体を揺らしながら演奏を楽しんだ。部員総勢六十六人の練習の積み重ねが来場者を笑顔にさせた。



▲ 校庭を包み込む演奏

## 化学部



▲ 化学部員

化学部では、研究発表やサイエンスショー、体験を行った。研究発表ではお堀の水など身近なものをテーマに、表やグラフを使い、部員が分かりやすく発表していた。また、サイエンスショーでは、酸化で溶液の色が変わる実験や圧力で風船が膨らむ実験など、クイズを交えながら原理を説明し、観客を魅了した。

## ハープ部



▲ 「ラプンツェルメロデー」を奏でる部員

ハープ部ではディズニー映画「塔の上のラプンツェル」をテーマに演奏を行った。装飾も細部にまでこだわっており、まるでおとぎの世界の主人公のような気分になった。二十三台のハープが織りなす美しい音色は観客を釘付けにしていた。

## クッキング部



▲ 夏休みから作り始めたという

クッキング部のテーマはウェディングであった。教室内に展示されたお菓子や軽食はどれも美味しそうであり、またとても美しかった。小学生以下対象のパフェ作り体験も行われ、来場者は世界観を楽しんでいた。

## 茶道部

茶道部は和室と談話ホールでお茶とお菓子を提供した。高1生がお運び、高2生がお点前を担当した。部長は「今年一般の方にも点前されるようになったので、さらに頑張りたい。」と抱負を語った。部員らは練習の成果を生かして一組一組に丁寧にお茶を出していた。



▲ お茶を振る舞う

## 地学部

地学部は、教室の天井から床まで細かく再現された映画「天気の子」の装飾で観客を出迎えた。プラネタリウムの上映、各個人が作成したレポートの展示も行った。プラネタリウムは、二日間合わせて計六回上映され、来客の方々に星の美しさや面白さを伝え、楽しませた。



▲ 上映されたプラネタリウム



▲ SNSの使い方について説明する部員

## 放送部

放送部では、情報をテーマに展示発表を行った。アプリの説明や情報モラルを守る大切さ、SNSの危険性とメリットについて、詳しくまとめられていた。教室の入口にはミラーボールが飾られ、きらびやかな展示となっていた。



# 色彩豊かな

## 創作ダンス部



▲ 最後は部員全員で

創作ダンス部は、「Snap shot」をテーマに、「Back Door」[Nonstop]「Ice cream」などのK-pop合計十三曲を踊った。ダンスは昨年度から練習を始めたという。部員同士の息が合っていて、非常に迫力があった。最終曲の前には、創作ダンス部の練習風景などを写したスライドショーもあった。最終曲の「Gangnam style」では、部員全員がステージに上がり、生き生きとした様子で踊った。一曲終わるごとに、観客席からは拍手が沸き起こった。

## 写真部

写真部は、「Toy・ストーリー」をテーマにした展示を行った。教室内には部員が撮影した「おもちゃの世界」の写真が飾られていた。写真には一人ひとりの個性や創造性が強く感じられ、来場者を魅了した。また、たぐさんの風船で飾られたフォトスポットも人気であった。そこで撮影した写真がお土産として手渡された。



▲ 来場者を撮影する部員



▲ 熱い試合

## バレーボール部

バレーボール部は、十八日の日曜日、雙葉生対雙葉生の紅白試合が行われた。両者どちらも次々と得点が入り、観客を湧かせた。計三試合行われ、見事三回とも黒チームが勝利を収めた。特に三回目の試合では、バレーボール部のOGの卒業生の方々も参加し、より熱い試合となった。



▲ 商品を売るテニス部員

## ソフトテニス部

ソフトテニス部では、障害者支援施設「かなの家」の石崎や「さつき学園」の利用者の方と部員で育てた花を使ったハーバリウムなどを販売していた。どの商品も、雙葉祭のテーマである「COLORFUL」を感じさせる彩りに溢れていた。来場者は商品を手に取り、楽しんでいった。

## 数学同好会



▲ 数学のゲームで遊ぶ部員

数学同好会では、「ブル」をテーマに展示した。マークシートについての調査レポートでは、千問以上の英検の過去問題を調べ上げることにより正確なデータを得られるようにしていた。また、様々な来校者に楽しんで頂けるように数学や算数の問題やゲームなどを用意していた。



▲ 大迫力のジオラマ

## 山岳部

山岳部は、夏合宿で行った八ヶ岳のジオラマやレポートの展示、オリジナルビデオの放映、三六〇度カメラで撮影したVR体験など、様々な企画を行った。中でも特に力が入っていた八ヶ岳のジオラマは、来客を圧倒する迫力があった。

## コーラス部

コーラス部はオリジナルミュージカル「アラジン」を上映した。劇中の全六曲のダンスでは場面ごとに部員の表情がガラッと変わり、観客を魔法の世界へ引き込んだ。また、動物や魔法の絨毯も人間の役につくり替えられて生き生きと演じられた。客席を行進する場面では会場と舞台が一体化し、講堂全体の熱気が高まった。王女ジャスミンと青年アラジンとの恋。勇気を持ち、自由を求めて困難に立ち向かう姿は観る人を感動させた。



▲ 講堂を美しい歌声で包んだ「A Whole New World」

## 日本文化研究部



▲ レポートの説明を行う部員

日本文化研究部では「文学」をテーマに部員一人ひとりの日本文学に関するレポートが展示されていた。レポートには作品の紹介だけでなく、考察まで詳しく書かれていた。また、宮沢賢治の「銀河鉄道之夜」をテーマにした黒板アートやスタンドグラスで来場者を魅了した。



▲ 心が一つになり合唱す

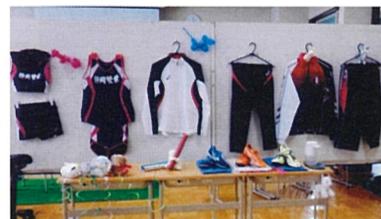
## 文芸部

文芸部では「丑三つ時」をテーマにイラストを展示していた。暗く冷えた教室の中、懐中電灯を持った袴姿の部員たちが来場者を案内していた。イラストもお化けをテーマにしたものが多く展示されていた。また、お土産には文芸部特製の「お札」をもらうことができた。



▲ お化けの黒板アートと袴姿の部員

## 陸上部



▲ 展示の様子

陸上部は、アルコールパッチテストや体力測定を行った。教室は身長などを測定する小学生や来校者で賑わいを見せた。また、今年度の陸上部の活躍やジャージやシューズの展示も実施。陸上部の普段の様子を知ることができた。



▲ サイエンスショーを行

## 新聞部

新聞部では全部活動と共にその他の展示発表の様子も速報した。雙葉祭前日には初の試みとなる雙葉祭直前号を発行。部員らは事前取材にも出向き、一人ひとりの活躍を伝えようと奮闘した。



▲ 皆で協力して記事を仕上げる



▲ ハロウィンをテーマにした装飾

## 語学部

語学部では、様々な国の怪談やお化けの紹介が行われた。入り口付近に紹介されるお化けが飾られていたり、出口付近にフォトブースがあったりと、怪談の世界に入り込みやすいようになっていた。訪れた人は、一足早いハロウィンを楽しむことが出来た。

# 球技大会

七月十二日(火)、十三日(水)の二日間、高校球技大会が体育館にて開催された。

初日は一回戦と二回戦、二日は準決勝と決勝を実施。両日に体育館には熱い声援が響き、クラスが一つになって勝利を手にならんと戦っていた。

「ボールを落とすまい」という気持ちで強く持ち、球技大会に力を入れる思いの強さがうかがえた。

体育科の成瀬先生は「伝統のある球技大会を今も生徒が一生懸命取り組んでくれて嬉しく思います。ぜひ、後輩に繋いでください。」と語った。



▲ バレーボール決勝の様子

結果は次の通り。  
 ▲バレーボールV  
 第一位 高3西  
 第二位 高3南  
 第三位 高3北  
 ▲バスケットボールV  
 第一位 高3西  
 第二位 高3東  
 第三位 高3北

## 後期生徒会

新聞部では後期生徒会長の高田優さん、副会長の秋庭怜さんにインタビューをした。

**Q1** スローガンの意味と込めた思い。

**A1** スローガンに「P&S」を掲げました。Pは平和の Peace、Sは広がるの Spread を意味します。ウクライナ侵攻が行われている現在、私たちに出来る最大の支援・活動をしていきたいと考えています。「キッズゲルニカ」という大きなキャンバスに子供たちが平和のメッセージを込めて描く国際的なアートプロジェクトを考えたいです。

**Q2** 会長、副会長になった理由。



▲ 後期生徒会会長 高田優さん(左)と副会長 秋庭怜さん(右)

**会長** 様々な事を一つずつ学校の為に行っているのだから、学校をよりよくしたいと思ったからです。

**副会長** 学校をよりよくしていきたいと思っただけです。

**Q3** 雙葉生に一言。  
**会長** 平和について少しでも考える機会を提供できたら嬉しいです。  
**副会長** 生徒のみならずとの交流の機会を増やしていきたいと思えます。

## 未来への志を育む講演会

### 講演会

六月二十九日、本校講堂にて、「未来への志を育む講演会」が行われた。

今年度の講師は野中ともよさん。地球環境やエネジー問題に取り組んでいる方である。「目指せ地球人」をテーマに、「国際人ではなく地球人を目指す」「環境問題は命の問題」等、様々なお話を伺った。

### インタビュー

新聞部は講演後にインタビューを行った。

**Q** 学生時代にやって良かった方がいいことは。  
**A** 一つ目は失敗すること。学生時代は失敗に対して最も強い時期です。思い浮かんだらやってみよう。二つ目は、自然の中で思い切り遊ぶこと。都市生活ではできないことをしましょう。

## 陸上部 インターハイ出場

陸上部の高2東の白井千晴さんと高1東の橋本詩音さんが徳島県で開催された全国高校総合体育大会に出場した。白井さんは四百メートル、橋本さんは八百メートルの出場である。県大会で橋本さんは二位、白井さんは本校初の優勝。東海大会でも見事な成績を収め、全国大会への切符を掴んだ。

夏休み目前、二人の全国大会を控えたある日の学校はどこかせわしない生徒会が企画し、二人にはサブライズで千羽鶴の製作が進められていた。高1・高2が参加した壮行会で全校の思いが詰まった千羽鶴が手渡されると、拍手で包まれた。二人は驚きながらも、感謝の言葉と大会への決意を話した。

話した。大会を終えて、橋本さんは「頑張った分だけ結果に表れる立ち幅跳びがとても楽しい。来年はもっと良い結果を残したい。」と語った。白井さんは「来年は全国大会の決勝に残りたい。千羽鶴は今も自宅に飾っている。皆さん、応援ありがとう。」と話した。二人だけではな

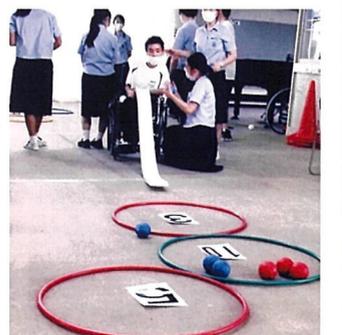


▲ 全国大会で福岡雙葉の選手と交流

## ポッチャで深まる絆

七月十五日(金)の放課後「バラスポーツ大会」が実施された。生徒会が企画し、中一から高2までの生徒二十名が参加した。講師として「しずおかフライングディスク協会」の大塚康夫さんをお招きし、「ポッチャ」を体験した。

最初に大塚さんからバラスポーツの歴史やルールをお話ししていただいた。七月二十五日(日)に中央特別支援学校を訪問して「ポッチャ」で交流した。両校が混合したチームで対戦した。雙葉生は相手の生徒に、技やボールを乗せて手で押すことで



▲ 特別支援学校の生徒とポッチャで交流

## 青春の軌跡

### 石川加奈子先生



▲ 留学中、チベットにて

**Q1** お勧めの本は。  
**A1** 木内昇の「樞道守」です。女性の様々な生き方が描かれた作品で、自分の生き方について考えさせられます。

**Q2** 中国留学について。  
**A2** 大学三年生の時に一年間交換留学生として滞在しました。学部の教授に声をかけていただいたのがきっかけです。留学中は中国語や文学の勉強をしたり、中国国内を旅したりしました。この一年間の出会いで大学院への進学を決め、社会言語学を専攻しました。大学院在学中には中国南部の広州にある華僑の為の大学で日本語教師もしました。その際には、かつて父がお世話になった中

**Q3** 憧れている方。  
**A3** 大学院時代の恩師です。研究者であり、母でもある彼女は、ご家族も自分の研究生活も大切になさっていました。先生はかつて子連れでドイツに留学されていて、「必ずしも心の中までずっと母である必要はない。何をやっていても生き方は自由」とおっしゃっていました。母としても細やかにお子さんを気遣いながら、ご自身も大切にされる先生の生き方に憧れています。

**Q4** 大学時代に熱中したこと。  
**A4** 旅をして、様々な人や、物に出会うこと。

**Q5** 雙葉生へ一言。  
**A5** 様々な経験をしてみよう。自分らしく生きていくってほしいと願っています。

**Q1** キリスト教の信者であり、静岡雙葉で育ちました。高2の研修旅行の際、遠藤周作の作品を読みキリスト教について深く知りたいと思い始めました。キリスト教を通じて思春期の自分の後輩に温かいメッセージを送りたいと考えています。

**Q2** 学生時代に熱中した事は。  
**A2** 友人とお喋りです。土曜日もお弁当を持ってきて午後四時まで友人とお喋りしていました。その頃の友人とは今も仲がいいです。

**Q3** 地学部顧問です。地学の魅力は。  
**A3** 地面の下から宇宙まで幅広い分野であることです。自然の偉大さを感じを受け、自分を謙虚にしてくれる所が好きです。ハッブル宇宙望遠鏡の写真が特に好きです。

**Q4** 自慢話。  
**A4** 在学中、六年間リーダー選手でした。先日、機会がありソフトテニスの部員と競争し、勝ちました。

**Q1** 宗教の先生になった理由は。  
**A1** 担任の志村先生と、高2の研修旅行

▲ 石川先生のある一日

午前	就寝	起床	仕事、新聞、読書	家事、支度、朝食、夕食作り	子供を起す	出勤電車、リラックス	仕事	出勤電車、リラックス	夕飯、お風呂に入る、子供の勉強や宿題を見る	子供を寝かせる、お風呂	就寝	
	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
午後			仕事									

▲ 松岡先生のある一日

午前	就寝	起床	娘を起こす、朝食、洗濯	仕事	ご飯作り、お風呂に入れる、子供を寝かせる	趣味、ドラマを見る、漫画を読む	就寝
	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時
午後			仕事				

## 編集後記

部員として初めての雙葉祭でした。雙葉祭ではインタビューや記事の制作をし、慣れないことが多くて不安でいっぱいでした。これからの部活動で色々な人との関わりを大切に、たくさんの経験を積んでいって、雙葉の様々な情報をお届けしていきたいと思えます。楽しみにしていて下さい。  
 中三 S・M

今号の発行をもって引退させていただきます。約一年という短い活動期間の中で四度も新聞の発行にたずさわることができました！新聞部で活動することができて、本当に嬉しかったです。最後に、読者の皆さん、石川先生、部員の皆さん、ありがとうございました。  
 高2 E・M